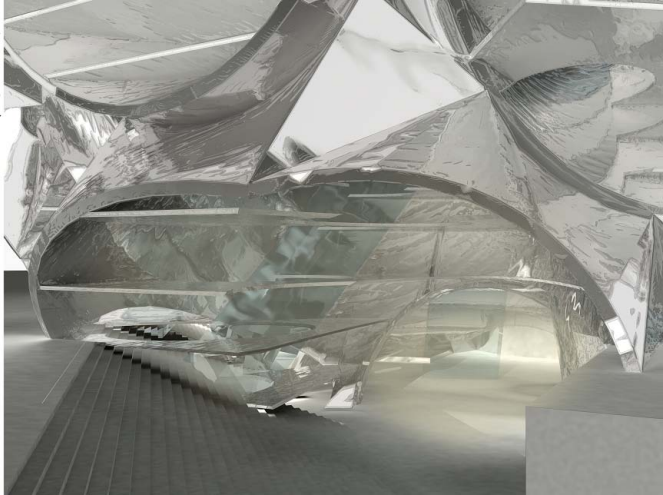


光の都市



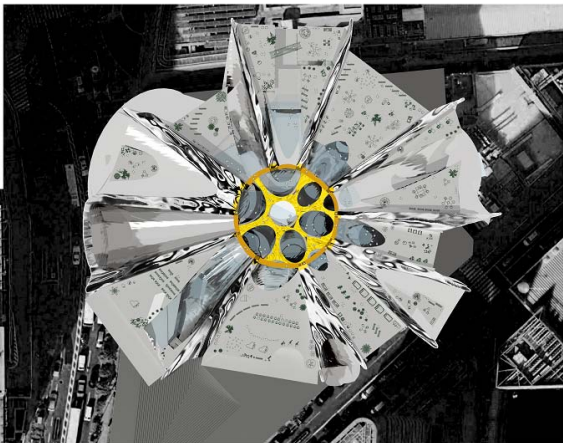




1:400 配置図



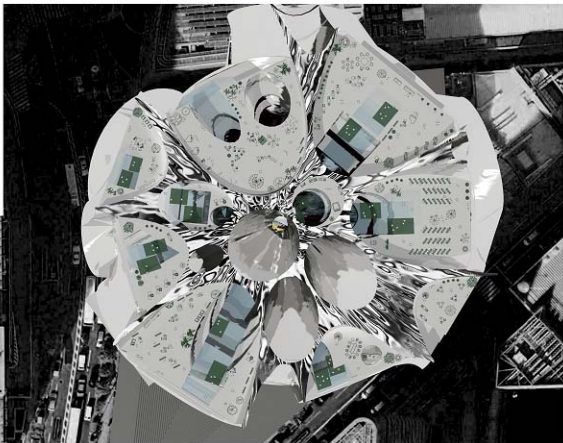
- a.服飾店
- b.オフィス
- c.雑貨屋
- d.レストラン
- e.家具売り場
- f.大型劇場
- g.小型劇場
- h.バックヤード
- i.イベント会場
- j.大アート会場
- k.小アート会場
- l.アトリウム



1:200 平面図 GL+27,800



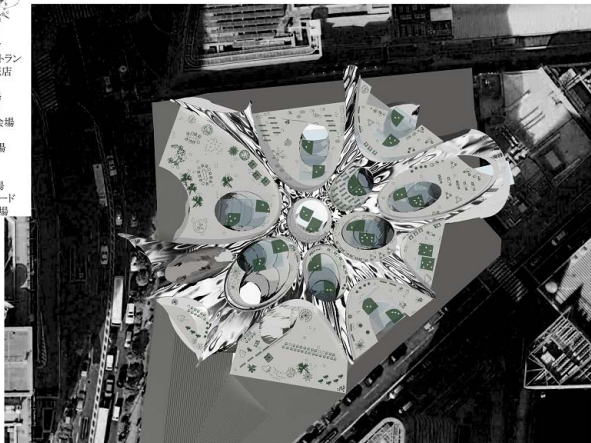
- a.ホテル
- b.書籍売り場
- c.カフェ
- d.小ホール
- e.ブティック
- f.オフィス
- g.イベント会場
- h.特別会場
- i.ホテル
- j.東採光
- k.バックヤード
- l.南採光
- m.設備スペース
- n.オフィス



1:200 平面図 GL+45,400



- a.ブティック
- b.大型レストラン
- c.楽器販売店
- d.雑貨店
- e.大型劇場
- f.小型劇場
- g.イベント会場
- h.服飾店
- i.書籍売り場
- j.公園
- k.カフェ
- l.アート会場
- m.バックヤード
- n.書籍売り場



1:200 平面図 GL+15,700



- a. 南面採光
- b. 服飾店
- c. 大型劇場
- d. レストラン
- e. 書籍売り場
- f. ブティック
- g. 小アート会場
- h. 特別会場
- i. オフィス
- j. 設備スペース
- k. オフィス
- l. イベント会場
- m. 大アート会場
- n. アトリウム



+71,500

+45,400

+27,800

+15,700

GL+0

-6,400



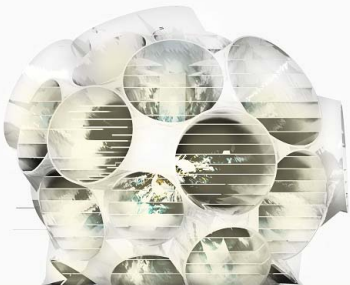
1:200 断面図



北側立面図



南側立面図



東側立面図



西側立面図

コンテクト



誘惑都市

西日本最大の都市、大阪梅田。様々な施設と交通拠点が集積し、日々大量の人々が集う。この都市は商業施設、娯楽施設、オフィス、金融機関等、あらゆる方法を用いて人々を惹きつける。

梅田最大のコンテクトは「誘惑」と言えよう。

しかし誘惑を目指した結果は均質なビル群であり、人々は暗いビルの谷間を歩かされることとなった。

誘惑都市梅田は自己矛盾に陥っている。



光

光に特化した複合商業施設をこの都市に挿入する。この建築は光を収束し、色を黄金に変え、都市に送り出す装置として都市に働きかける。「光の都市」から零れ落ちる光は、誘惑都市をそのアイデアへと回帰させるだろう。

空間ダイアグラム



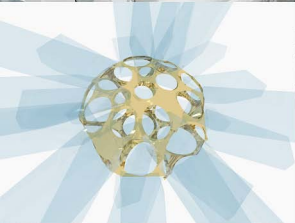
異形と光

都市に突如として出現する銀箔の表皮を有した異形と、その異形から零れ落ちる黄金色の光が都市の人々を強力に惹きつけ、コーンへと導く。



光道

コーンの内部では頭上のスラブのヴォイドから、アトリウムの黄金色の光が零れ落ちている。人々はこの光に誘われ、「光の都市」最深部である黄金のアトリウムへと光の道を昇っていく。



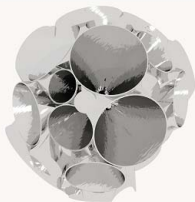
黄金と陶醉

光道を抜けて黄金色のアトリウムに到達する。アトリウムではストラクチャが収束した光が黄金色へと変わり、その光と黄金色の表皮で人々を陶醉させる。

天空

上部コーンの光道の先には天空が広がり、眼下には都市が広がる。「光の都市」を辿った先は、誘惑都市の頂である。

構成ダイアグラム



ストラクチャ

33本のコーン同士の空隙を、光の反射率の高い銀白の金属で充填する事で構成されている。上部のコーンは日光を反射し、コーン最奥にある黄金色のアトリウムへと光を収束する。また下部のコーンはアトリウムから漏れ出る光を反射し、都市や地下ホールに光を供給する。



スラブ群

コーンの内壁に纏わり着くように配置される。各コーンにおけるスラブには光道のためのヴォイドが設けられており、ストラクチャによる光の反射を妨げない。全体としてのスラブの像は、花弁を宙に散らしたような形態となった。



光道

スラブ群がストラクチャの光の反射の作用を阻害しないように設けられた、スラブ群を挟むヴォイド群。これら光道はアトリウムに向かって収束している。



アトリウム

黄金色の金属の素材で作られたアトリウム。上部コーンによって収束される光を黄金色に変換し、下部コーンに送り出す。また斜行エレベータのターミナルになっており、人々はこのアトリウムで眩い黄金色に魅せられ、そして他のコーンへ渡って行く。



斜行

エレベータ

スラブ間の移動には斜行エレベータを用いる。人々は地上より下部コーンを通るエレベータでアトリウムに辿り着き、アトリウムにてエレベータを乗り換え、他のコーンに移っていく。斜行エレベータは光道に沿っており、ストラクチャによって収束される光の道に包まれながら人々は移動する。



地下ホール

地上から雪崩れ込むような階段の先にGLより6.4m掘り下げられたホールが設置される。地下街からも直接繋がっており、建築の内外を意識させずに人々を誘い込む。この地下ホールを備えた地盤にはストラクチャを通してアトリウムより黄金色の光が供給され、黄金色の光に彩られたホールとなる。



インポーズ フィギュア

以上ストラクチャ、スラブ群、光道、アトリウム、斜行エレベータ、地下ホールが重ね合わされこの「光の都市」は構成される。

ストラクチャのコーンから見えるスラブにおけるアクティビティに人々は誘われ、黄金色の光に満ちた地下ホールへと潜り、光道の中を斜行エレベータで上昇し、黄金色のアトリウムに到達する。黄金色の光の中で他のコーンに移り、再び光道の中の斜行エレベータを、今度は天空を目指して上昇する。

都市に光を供給し、内部では光に彩られた空間を生み出している。